

平成30年度県民芸術劇場公演 第25回 ちば県民合唱団定期演奏会

JOHANNES CHRYSOSTOMUS
WOLFGANGUS THEOPHILUS MOZART

大ミサ曲

モーツァルト

演奏曲目

モーツァルト作曲 / 交響曲第41番「ジュピター」・「大ミサ曲」KV427

指揮 / 現田 茂夫

ソリスト / 小玉 友里花 (ソプラノ1)・石田 滉 (ソプラノ2)

持齋 寛匡 (テノール)・河野 陽介 (バス)

管弦楽 / 千葉交響楽団

合唱 / ちば県民合唱団

合唱指揮 / 大津 康平 (千葉県合唱連盟理事)

練習ピアニスト / 柳井 和泉・塩澤 景子



平成31年 2月24日(日) 14:00開演 (13:30開場)

千葉県文化会館 大ホール (千葉市中央区市場町11番2号)

全席自由 3,000円 (税込)

※駐車台数に限りがありますので、公共の交通機関をご利用ください。

プレイガイド 千葉県文化会館 ☎043-222-0201
千葉県東総文化会館 ☎0479-64-2001
インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>



主催: CHIBA 千葉県文化会館 / 千葉県
(公財) 千葉県文化振興財団

協力: 公益財団法人 千葉交響楽団 / 千葉県合唱連盟

TOKYO 2020
応援プログラム



PROFILE プロフィール

現田 茂夫 (げんだ しげお) 【指揮】 SHIGEO GENDA (Conductor)

東京生まれ。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。
1986年二期会オペラ「ヘンゼルとグレーテル」でオペラ・デビュー後、二期会オペラ等で活躍する一方、オーケストラコンサートでも実績を積み、1996年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年4月より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラとも数多く共演し高評を得ている。世界的チェリスト故ロス・トロポーヴィチ氏と皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高い評価を得た。
オペラ指揮者としても経験豊かで数多くの公演を行なっている。「佐藤しのぶドラマチック・リサイタル」、「夕鶴」のカザフスタン／ウズベキスタン／東京公演、「天守物語」等、日本のオペラも積極的にこなしている。
2004年秋にはブラチスラヴァでスロヴァキア国立歌劇場の「椿姫」を指揮し、さらに同日本公演でも好評を博した。2002年からは錦織健プロデューサーオペラの音楽監督も務める。2011年はアンサンブル金沢と「椿姫」を公演。2014年には市川右近(現三代目市川右衛門)新演出「夕鶴」の全国公演も行い高評を得て2016年に再演を行った。
アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール(イタリア/トレント)の審査員や、NHKの「FMシンフォニー・コンサート」のパーソナリティを3年間務めるなど、バラエティに富んだ活動を行なっている。

小玉 友里花 (こだま ゆりか) 【ソプラノ1】 YURIKA KODAMA (Soprano1)

広島県呉市出身。
広島音楽高等学校を卒業、東京藝術大学音楽学部声楽科を首席で卒業。同大学院修士課程修了。
安宅賞、松田トシ賞、大賀典雄賞、アカンサス音楽賞、同声会賞、長野幸奈子賞、毛利準貴など数々の賞を受賞。2014年に皇居内桃華楽堂にて御前演奏会、第84回読売新人演奏会に出演。また、ヴァルディ「グローリア」、モーツァルト「雀ミサ」M、ハイドン「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」など数々のソプラノソリストを務める。オペラではモーツァルト「魔笛」パミーナ役「イドメネオ」エレットラ役で出演。
これまでに久保幸代、川上洋司、佐々木典子の各氏に師事。
現在東京藝術大学大学院博士課程独唱専攻に在籍。

石田 滉 (いしだ きらら) 【ソプラノ2】 KILARA ISHIDA (Soprano2)

千葉県松戸市出身。
千葉県立幕張総合高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。
卒業時に、アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞し、高関健指揮藝大フィル定期公演にて新卒業生紹介演奏会に出演。
2014年度公益財団法人青山財団奨学生。2018年度公益社団法人日本演奏連盟宗次エンジェル基金新進演奏家国内奨学生。
第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会声楽部門大学女子の部最高位。第2回江戸川新進音楽家コンクール第1位。オペラでは、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」ケルビーノ役、「魔笛」侍女II役で出演。宗教曲ではベートーヴェン「第九」のアルトソリストを務める。
これまでに声楽を、春日保人、三縄みどり、櫻田亮の各氏に師事。
現在、東京藝術大学大学院音楽研究科オペラ専攻修士課程3年に在学中。

持齋 寛匡 (じさい ひろまさ) 【テノール】 HIROMASA JISAI (Tenor)

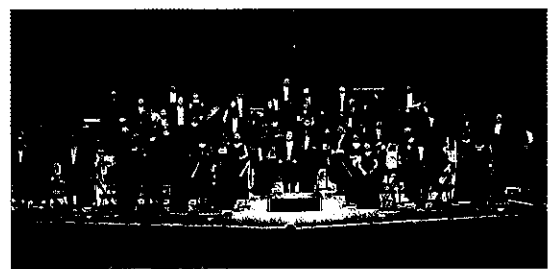
栃木県足利市出身。
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院声楽オペラ専攻修士課程修了。声楽を鈴木山紀、川上洋司の両氏に師事。
東京藝術大学オペラ定期公演「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、「フィガロの結婚」ドン・パジリオ及びドン・クルツィオ役で出演。東京二期会協賛、神奈川県民ホール主催によるオペラシリーズ2018「魔笛」(宮本亜門演出)でタミーノ役のアンダースタディを務め同ハイライト公演に同役で出演。「愛の妙薬」ネモリーノ、「トゥーランドット」パンなどその他多数のオペラに出演。
2019年3月16日及び17日に立川市民オペラ主催「こうもり」にプリント役で出演予定。数々の演奏会に「第九」のソリストで出演。東京二期会オペラ研究所第61期修了生成績優秀者によるガラコンサート「二期会新進声楽家の夕べ」に出演。足利における演奏会でNHK交響楽団木管五重奏と共演。二期会会員。

河野 陽介 (かわの よすけ) 【バス】 YOUSUKE KAWANO (Bass)

茨城県神栖市出身。
千葉県立佐原高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。
これまでに声楽を、寺谷千枝子、シュテファン・グンツ、渡邊明、渡邊一夫、坂本龍子の各氏に師事。
ソリストとして、ベートーヴェン「第九」を中央区交響楽団と、フォーレ「レクイエム」をアンサンブル金沢と共演。千葉県文化会館開館50周年賛同事業「東総の第九2017」ではソリストと合唱指揮を務める。声楽指導に定評があり、佐野第九演奏会では飯森範親氏、松尾葉子氏らから絶賛を博した。劇伴音楽の録音にも多数携わり「劇場版PSYCHO-PASS」ではヴォーカルソロを担当した。劇団四季「ノートルダムの鐘」、BS-TBS「日本名曲アルバム」出演中。NHK教育「ムジカ・ピッコリーノ」原語・歌唱指導。第9回徳島音楽コンクール声楽部門大学・一般の部銀賞。牛久市CTV「放課後の音楽室」パーソナリティ。おっさんレンタル所属。

千葉交響楽団

千葉交響楽団は、千葉県唯一のプロオーケストラであり、前身であるニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の31年間の活動を引き継ぐかたちで、2016年10月に公益財団法人千葉交響楽団に改称し、現在、33年目を迎えている。
定期演奏会をはじめ、県民芸術劇場や各地での演奏会など、毎年およそ20回のコンサートで演奏し、千葉県の音楽文化の向上に努めている。また、次代を担う子どもたちに向けては、千葉県及び各市町村教育委員会の共催事業である「小中高등학교音楽鑑賞教室」を毎年50校ほど実施するとともに、幼稚園や特別支援学校への訪問演奏や各種室内楽など、年間併せて150回を超えるコンサートに出演し、音楽の素晴らしさを伝え続けている。
2016年4月からは音楽監督として山下一史を招聘し、「おらがまちのオーケストラ」を掲げ、新たな挑戦を始めたところ。新鮮で熱気あふれる演奏は、多くの千葉県民の皆様から支持を得ており、県民の皆様にも親しまれ、愛されるオーケストラとしての地位を着実に築きつつある。



ちば県民合唱団

「ちば県民合唱団」は、1994年に合唱活動が盛んな千葉県においてその産声を上げ、以後、ヴェルディ作曲「レクイエム」、バッハ作曲「ミサ曲短調」など、大曲と呼ばれる作品に挑んでいる。
現在、県内をはじめ各地から1,300名を超える登録があり、千葉県文化会館や千葉県東総文化会館を活動の拠点として練習に励んでいる。
定期演奏会に向けた練習以外にもセミナーを開催し、歌うだけでなく作品の歴史や背景を学び、曲の持つイメージを大切にしている。